



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東  
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 全徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 和田 輝久 TEL (06) 6223-9111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	209,322	△15.5	15,183	△38.7	18,326	△32.6	15,048	△27.9
28年3月期第3四半期	247,731	△10.0	24,758	34.3	27,188	26.0	20,885	51.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,897百万円 (△84.8%) 28年3月期第3四半期 19,072百万円 (5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	370.81	—
28年3月期第3四半期	514.57	—

※ 平成27年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	409,808	278,870	67.2	6,789.09
28年3月期	407,997	282,485	68.3	6,870.84

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 275,511百万円 28年3月期 278,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	13.00	—	85.00	—
29年3月期	—	75.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成27年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。28年3月期の年間配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮し、合計は「—」として記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	280,000 △13.3	22,000 △29.6	25,000 △27.2	19,000 △26.9	468.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

## (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期3Q	40,800,000株	28年3月期	40,800,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	218,495株	28年3月期	217,611株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期3Q	40,581,979株	28年3月期3Q	40,586,567株

※ 平成27年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(参考情報)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(以下、当四半期累計期間)における世界経済は、アメリカでは景気回復が続き、欧州でも緩やかに回復している一方で、中国や資源国などの景気減速が続くなかで推移しました。

日本経済は、個人消費に弱さがみられるものの、雇用情勢が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調にあるなかで推移しました。

化学工業界におきましては、原料価格や為替の動向など先行きが不透明ななかで推移しました。

## ①全体の状況

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	247,731	209,322	△38,409	△15.5%	323,124
営業利益	24,758	15,183	△9,575	△38.7%	31,234
経常利益	27,188	18,326	△8,862	△32.6%	34,342
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	20,885	15,048	△5,836	△27.9%	26,003
1株当たり四半期(当期)純利益	514.57円	370.81円	△143.76円	△27.9%	640.69円
ROA(総資産経常利益率)	8.6%	6.0%	—	△2.6ポイント	8.3%
ROE(自己資本利益率)	10.2%	7.2%	—	△3.0ポイント	9.6%
為替(\$、EUR)	\$=¥121.73	\$=¥106.62		¥△15.11	\$=¥120.14
	EUR=¥134.40	EUR=¥118.00		¥△16.40	EUR=¥132.59
ナフサ価格	45,600円/kl	32,300円/kl		△13,300円/kl	42,800円/kl

(注) 1. 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

2. 平成27年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。これに伴い、1株当たり四半期(当期)純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

このような状況のもと、当社グループの当四半期累計期間の売上高は、原料価格や製品海外市況が下落したことによる販売価格の低下や、円高の影響などにより、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期累計期間)に比べて384億9百万円減収(△15.5%)の2,093億2千2百万円となりました。

利益面につきましては、生産・販売数量が増加したことによる数量効果に加え、加工費も減少しましたが、原料価格の下落幅以上に製品市況が低下したことによるスプレッドの縮小により、営業利益は、前年同四半期累計期間に比べて95億7千5百万円減益(△38.7%)の151億8千3百万円となりました。

営業外損益は、持分法投資利益は減少しましたが、為替差損益が改善したことや技術供与等関連費用が減少したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて7億1千2百万円の増益となりました。その結果、経常利益は前年同四半期累計期間に比べて88億6千2百万円減益(△32.6%)の183億2千6百万円となりました。

特別損益は、関係会社株式売却益がなくなった一方で、投資有価証券売却益を計上したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて4億9千5百万円の増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期累計期間に比べて58億3千6百万円減益(△27.9%)の150億4千8百万円となりました。

## ②セグメント別の概況

### [基礎化学品事業]

アクリル酸及びアクリル酸エステルは、国内では原料価格下落に伴い販売価格が低下したこと、海外では、世界的な供給過剰状態が続くなか、東南アジア市況低迷に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

酸化エチレンは、販売数量は増加させましたが、原料価格下落に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

エチレングリコールは、販売数量は増加させましたが、海外市況が下落したことや円高の影響などにより、減収となりました。

エタノールアミンは、原料価格下落に伴い販売価格が低下しましたが、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

高級アルコールは、販売数量が減少したことや原料価格下落に伴い販売価格が低下したことなどにより、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて17.4%減少の756億8千9百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量が増加し、加工費も減少しましたが、スプレッドが縮小したことなどがこれらを上回った結果、前年同四半期累計期間に比べて21.0%減少の55億7百万円となりました。

### [機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、販売数量は増加させましたが、原料価格が下落したことに伴い販売価格が低下したことや円高の影響などにより、減収となりました。

電子情報材料、エチレンイミン誘導品及び粘着加工品は、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

特殊エステルは、海外市況が下落したことや円高の影響などにより販売価格は低下しましたが、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

無水マレイン酸及び樹脂改質剤は、販売数量は増加させましたが、原料価格下落に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

よう素化合物は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、洗剤原料などの水溶性ポリマーは、販売数量が減少したことや円高の影響などにより、減収となりました。

塗料用樹脂は、製品構成により減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて15.9%減少の1,143億4千万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量が増加したことに加え、加工費及び販管費も減少しましたが、スプレッドが縮小したことなどがこれらを上回った結果、前年同四半期累計期間に比べて46.9%減少の92億4千7百万円となりました。

### [環境・触媒事業]

自動車触媒は、貴金属価格下落に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

プロセス触媒、リチウム電池材料及び湿式酸化触媒は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

燃料電池材料は、販売数量は増加させましたが、原料価格が下落したことに伴い販売価格が低下したことや円高の影響などにより、減収となりました。

脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒及び排ガス処理触媒は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて3.7%減少の192億9千3百万円となりました。

営業利益は、燃料電池材料及び湿式酸化触媒の販売数量が増加したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて397.1%増加の4億1千3百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末(以下、前年度末)に比べて18億1千1百万円増加の4,098億8百万円となりました。流動資産は、前年度末に比べて73億6千2百万円減少しました。前年度末比で円高になったことによる在外子会社での為替換算の影響により、現金及び預金や商品及び製品が減少したことなどによるものです。固定資産は、前年度末に比べて91億7千3百万円増加しました。時価の上昇により投資有価証券が増加したことや、設備投資により有形固定資産が増加したことなどによるものです。

負債は、前年度末に比べて54億2千7百万円増加の1,309億3千8百万円となりました。長期借入金が増加したものの、社債の発行や支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前年度末に比べて36億1千5百万円減少の2,788億7千万円となりました。利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものです。

自己資本比率は、前年度末の68.3%から67.2%へと1.1ポイント減少しました。また、1株当たり純資産額は、前年度末に比べて81.75円減少の6,789.09円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間(以下、当四半期累計期間)末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの収入が、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出及び財務活動によるキャッシュ・フローの支出を上回ったものの、現金及び現金同等物に係る換算差額による減少により、前連結会計年度末に比べて52億2千1百万円減少の588億3千4百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間(以下、前年同四半期累計期間)の389億3千5百万円の収入に対し、当四半期累計期間は262億9千7百万円の収入となりました。主として税金等調整前四半期純利益が減少したことにより、前年同四半期累計期間に比べて126億3千7百万円の収入の減少となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の89億6百万円の支出に対し、当四半期累計期間は221億8千8百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて132億8千2百万円の支出の増加となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の171億9千7百万円の支出に対し、当四半期累計期間は36億6千1百万円の支出となりました。当四半期累計期間において社債の発行を行ったこと及び短期借入金の返済額が減少したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて135億3千7百万円の支出の減少となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

当社グループの通期の連結業績につきましては、平成28年11月8日に発表いたしましたとおり、売上高2,800億円、営業利益220億円、経常利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益190億円を見込んでおります。

通期の連結業績につきましては、平成29年3月期第4四半期の為替レートを110円/米ドル、115円/ユーロとし、ナフサ価格を42,000円/キロリットルの前提としております。

なお、前回発表いたしました報告セグメント別の通期業績予想値は以下のとおりであります。

※ご参考：前回発表（平成28年11月8日）報告セグメント別業績予想値 (単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期予想	1,000	70	1,530	143	270	7

**2. サマリー情報(注記事項)に関する事項****(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

**(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

該当事項はありません。

**(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

該当事項はありません。

**(4) 追加情報**

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,172	63,037
受取手形及び売掛金	64,936	65,467
商品及び製品	27,884	26,309
仕掛品	5,574	5,801
原材料及び貯蔵品	15,549	15,193
その他	12,585	12,526
貸倒引当金	△18	△12
流動資産合計	195,682	188,320
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	70,152	63,724
土地	33,084	33,073
その他（純額）	47,495	58,360
減損損失累計額	△4,144	△3,886
有形固定資産合計	146,588	151,270
無形固定資産		
その他	3,999	3,529
無形固定資産合計	3,999	3,529
投資その他の資産		
投資有価証券	49,208	54,378
その他	12,587	12,377
貸倒引当金	△67	△66
投資その他の資産合計	61,728	66,689
固定資産合計	212,315	221,488
資産合計	407,997	409,808
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,310	44,695
短期借入金	13,186	10,276
1年内返済予定の長期借入金	8,195	11,005
未払法人税等	4,507	1,504
賞与引当金	3,273	1,262
その他の引当金	2,623	2,976
その他	9,959	12,841
流動負債合計	81,053	84,559
固定負債		
社債	-	10,000
長期借入金	29,166	19,140
退職給付に係る負債	12,568	12,749
その他	2,724	4,490
固定負債合計	44,458	46,379
負債合計	125,511	130,938



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,395	22,396
利益剰余金	216,224	224,779
自己株式	△1,010	△1,016
株主資本合計	262,648	271,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,613	11,526
繰延ヘッジ損益	16	16
為替換算調整勘定	11,474	△4,803
退職給付に係る調整累計額	△2,916	△2,424
その他の包括利益累計額合計	16,187	4,314
非支配株主持分	3,651	3,359
純資産合計	282,485	278,870
負債純資産合計	407,997	409,808

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	247,731	209,322
売上原価	194,407	165,488
売上総利益	53,325	43,834
販売費及び一般管理費	28,567	28,651
営業利益	24,758	15,183
営業外収益		
受取利息	173	150
受取配当金	795	1,007
持分法による投資利益	2,116	1,810
不動産賃貸料	891	822
受取技術料	262	271
その他	662	479
営業外収益合計	4,899	4,538
営業外費用		
支払利息	333	299
為替差損	942	316
減価償却費	101	111
その他	1,093	669
営業外費用合計	2,469	1,396
経常利益	27,188	18,326
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,141
関係会社株式売却益	620	-
国庫補助金	249	-
特別利益合計	869	1,141
特別損失		
固定資産圧縮損	223	-
特別損失合計	223	-
税金等調整前四半期純利益	27,834	19,466
法人税、住民税及び事業税	4,922	3,578
法人税等調整額	1,933	849
法人税等合計	6,856	4,427
四半期純利益	20,978	15,040
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	94	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,885	15,048

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	20,978	15,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	320	3,916
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△1,286	△14,788
退職給付に係る調整額	94	459
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,034	△1,730
その他の包括利益合計	△1,906	△12,143
四半期包括利益	19,072	2,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,991	3,175
非支配株主に係る四半期包括利益	82	△279

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	27,834	19,466
減価償却費	13,389	12,888
固定資産圧縮損	223	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,141
補助金収入	△249	-
受取利息及び受取配当金	△968	△1,157
支払利息	333	299
持分法による投資損益(△は益)	△2,116	△1,810
関係会社株式売却損益(△は益)	△620	-
売上債権の増減額(△は増加)	△482	△2,727
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,068	△300
仕入債務の増減額(△は減少)	2,670	7,296
未払消費税等の増減額(△は減少)	773	△503
その他	1,420	△1,880
小計	44,275	30,432
利息及び配当金の受取額	2,170	2,583
利息の支払額	△314	△234
補助金の受取額	249	-
法人税等の支払額	△7,446	△6,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,935	26,297
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,702	△22,696
有形固定資産の売却による収入	3	11
投資有価証券の取得による支出	△679	△556
投資有価証券の売却による収入	0	1,242
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	211	-
関係会社株式の取得による支出	△22	△400
出資金の回収による収入	535	354
その他	△253	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,906	△22,188
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,879	△3,070
長期借入れによる収入	500	1,280
長期借入金の返済による支出	△5,439	△5,340
社債の発行による収入	-	10,000
自己株式の取得による支出	△49	△6
配当金の支払額	△5,276	△6,493
非支配株主への配当金の支払額	△32	△13
その他	△23	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,197	△3,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	△375	△5,669
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,456	△5,221
現金及び現金同等物の期首残高	44,336	64,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,792	58,834

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	91,667	136,021	20,043	247,731	—	247,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,407	3,768	441	30,617	△30,617	—
計	118,075	139,789	20,484	278,348	△30,617	247,731
セグメント利益	6,974	17,424	83	24,482	276	24,758

(注) 1. セグメント利益の調整額 276百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	75,689	114,340	19,293	209,322	—	209,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,574	3,418	723	24,714	△24,714	—
計	96,263	117,758	20,015	234,036	△24,714	209,322
セグメント利益	5,507	9,247	413	15,167	16	15,183

(注) 1. セグメント利益の調整額 16百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (参考情報)

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	49,758	35,899	23,580	14,089	123,326
連結売上高(百万円)					247,731
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.1	14.5	9.5	5.7	49.8

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	41,277	25,438	22,467	9,227	98,410
連結売上高(百万円)					209,322
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.7	12.2	10.7	4.4	47.0

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国
- (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国
- (3) 北米 ……………北アメリカ諸国
- (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。